暑い夏をぶっとばせ

　梅雨もあがり、いよいよ夏のスポーツシーズンです。そこでスポーツ都市宣言にちなみ、特集号として、市民スポーツの活動状況を写真で紹介いたしました。

　地域ぐるみのスポーツをはじめ、明日をになう少年たちのスナップ、青年の体力と精神づくり、婦人の若返り運動、施設としての学校開放、新しく造られた小針野球場、また市民のショートインタビューなどです。家族ぐるみ、いや市民総ぐるみでスポーツを行ない、丈夫なからだと精神で、この暑い夏を乗り越えて、明るい毎日を過ごしましょう。

地域ぐるみの大運動会　中野小屋地区

　七月十二日，中野小屋地区二千五百人が参加して大運動会が開かれました。文字通り地域ぐるみの行事で，同地区連合青年団，婦人会，自治振興会が公民館や，地区事務所の協力を得て，昨年からこの時期に開いているもの。

　これは，まもなくやってくる農繁期に備えての体力づくりと，地域の連帯感を強めようということで開かれました。

少年の中にもドッシリと

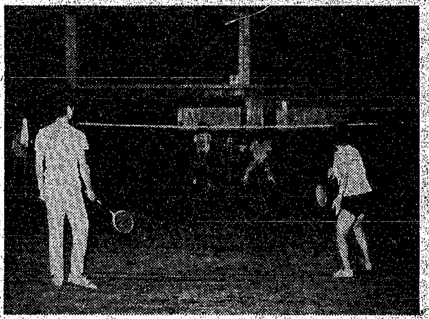
　スポーツは、少年の中にもドッシリと根をおろしています。保健体育課がこの春募集したスポーツ少年団も、サッカー、バスケットボール、剣道、体操などいずれも多くの少年が入団し、積極的に練習に励んでいます。

　また、学校のグランドなどでも四・五人の少年がサッカーボールを蹴っている姿や野球を楽しむ姿が毎日見受けられます。

　一方、地域の人たちの、少年のスポーツに対する関心も高まり、地域ぐるみで少年を指導しているところも出てきました。入舟地区の柔道クラブもそのひとつです。

　また、武道練習場でも若アユたちが体ごと柔道にぶつかっています。写真は㊤サッカーの基本を練習するサッカー少年団㊥「エイ！オッ！」おもわずしないに力がこもる剣道少年団㊦「一本アリ！」投げわざも大事だが、なんといってもうけ身が大切。

学校開放



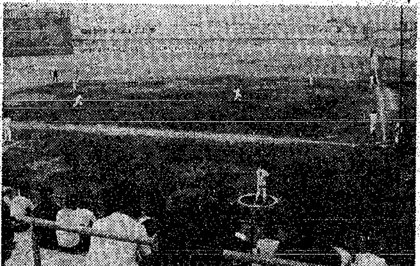
　小学校の体育館を地区の方々から利用していただく〝学校開放〟が好評を博しています。バレー、バドミントン、卓球が楽しめます。学校開放をしている学校は、内野、新潟、入舟、豊照、沼垂、礎、鏡渕の各小学校です。

（写真は新潟小で）

早起き野球大会

富士クラブが優勝

　六月七日から約1カ月間開かれた早起き野球大会は，158チーム，3,000人が参加し，全国一のマンモス大会となりました。厳しい予選を勝ち抜いて決勝に残ったのは，富士クラブと豆九チーム。結局2－0で富士クラブが優勝しました。



ママさんの若返り教室

　美容にもひと役…と整美体操に汗を流すママさん。初心者コースと経験者コースがあります。

トレーニングセンター

　青年男子が多く，体力づくりと忍耐強い精神を養うため，一方女子では美しいスタイルをと，日々トレーニングに励んでいます。市トレーニングセンター会員は約3,600人，男子2,500人，女子1,100人。1日平均110人，男子80人，女子30人が練習。

ショートインタビュー

松波町2
風間栄一さん
（54才）

スポーツ普及と指導員の充実を

　新潟は屋外運動期間が短い。したがって室内運動施設を備え、スポーツでからだと精神を充実し、企業競争のはげしい今日を乗り越えてほしいもの。またスポーツは見るものでなく、自分自身で行なうもの。それにはスポーツの普及と指導員が必要と思う。幸い白山高校の体育科新設もあり、優秀な指導員のもとでスポーツの振興を図ってほしい。

寄居町
粕谷欽二さん
（50才）

リーダー養成のスポーツ教室を

　二つのことを市にお願いしたい。一点は地域にスポーツを広めるというねらいで、リーダーを育てるスポーツ教室を開いて欲しい。ここで育ったリーダーが少しずつスポーツを市民に浸透させてゆけば真のスポーツ都市になると思う。

　二点は「お父さんの健康教室」など中老年者向きのスポーツ教室をもっと沢山開いてもらいたい。

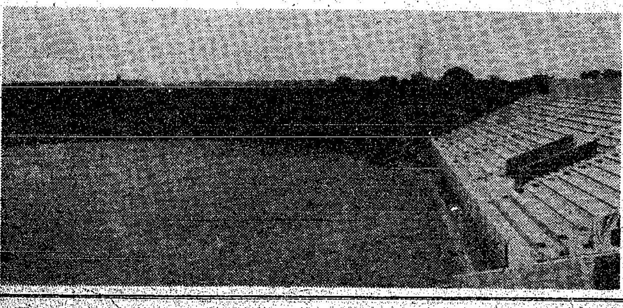
濁川
本間秀雄さん
（45才）

新興地に体育施設を

　市営プールで親子で泳げて大変楽しい。しかしこれらの施設が市の中心部にあり、新興地に住む市民は遠距離で不便。スポーツ都市として郊外にも立派な運動施設を設置してほしい。

　また学校施設の開放として、プールを開放し、父兄も夏のひとときを楽しく過ごせるようお願いしたい。一方、市民ぐるみとして地区別の野球大会など年一回開いたらよいと思う。

小針野球場オープン



　小針野球場が今日からオープンします。すでに使用割り振り会議も終わり、市民の皆さんから大いに利用されることになります。利用希望者は市保健体育課（㊢66－八一二一番）へ。（写真は九分どおり完成した小針野球場）